

令和元年度

「議会報告会・意見交換会」
報告書



目次

■ 会場別基礎データ	1
■ 参加者アンケート分析	2
■ 報告書【これからの矢板市に望むこと】	9
■ 報告書【子育て・孫育て】	17
■ 報告書【人口減少の中でのまちづくり】	24

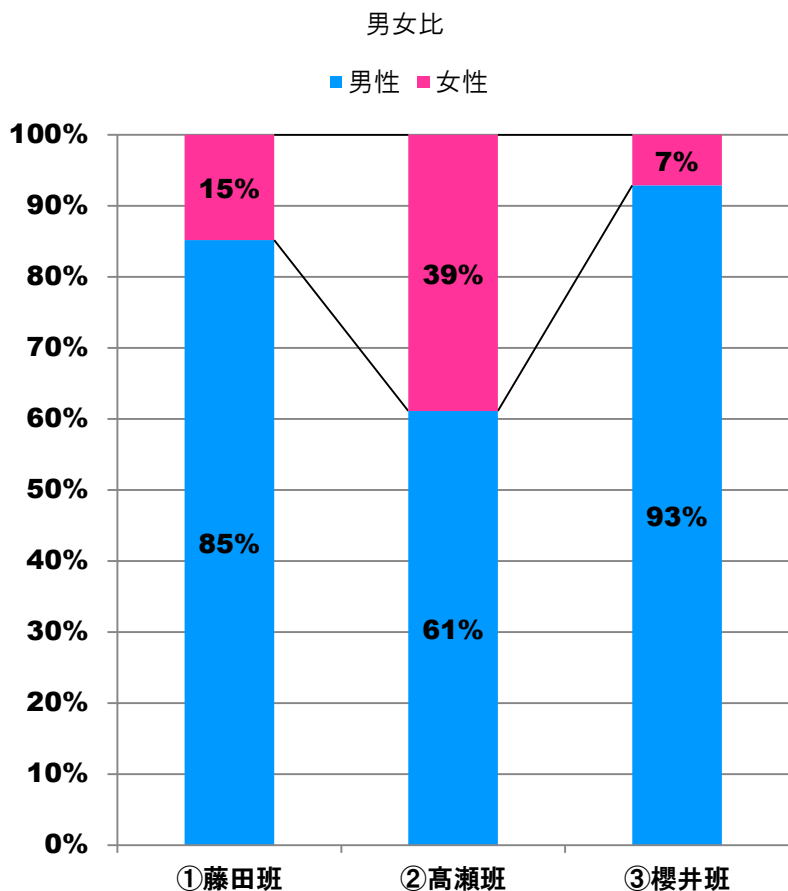
1. 会場別 基礎データ

開催日	会場	担当議員 ※◎: 班長、○: 副班長	参加者数	アンケート 回収数	アンケート 回収率
10月 9日 (水)	矢板市文化会館 小ホール	◎藤田 欽哉 ○神谷 靖 佐貫 薫 和田 安司 中村 久信	32	29	91%
10月16日 (水)	生涯学習館 研修室 1	◎高瀬 由子 ○中里 理香 関 由紀夫 宮本 妙子 中村 久信	20	19	95%
10月27日 (日)	生涯学習館 研修室 1	◎櫻井 恵二 ○石塚 政行 ○掛下 法示 伊藤 幹夫 小林 勇治	14	14	100%
合計			66	62	94%

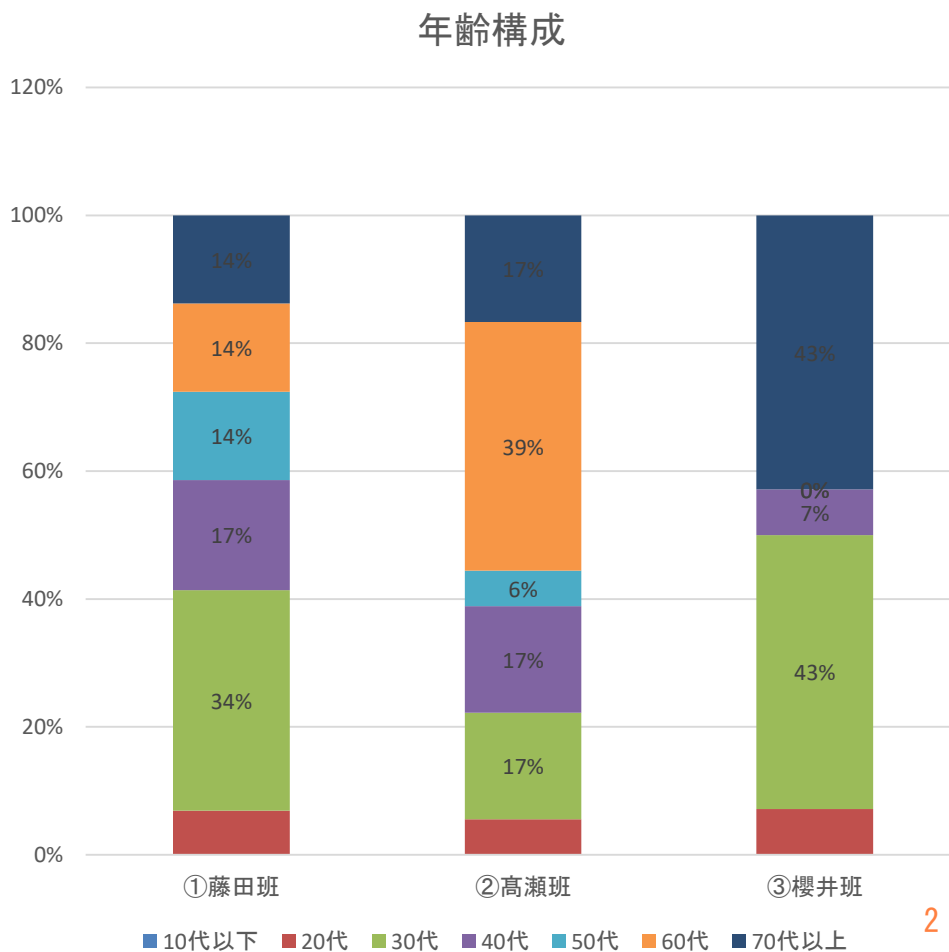
2. 参加者アンケート分析

Q1 ご自身についてお聞かせください。

男女比

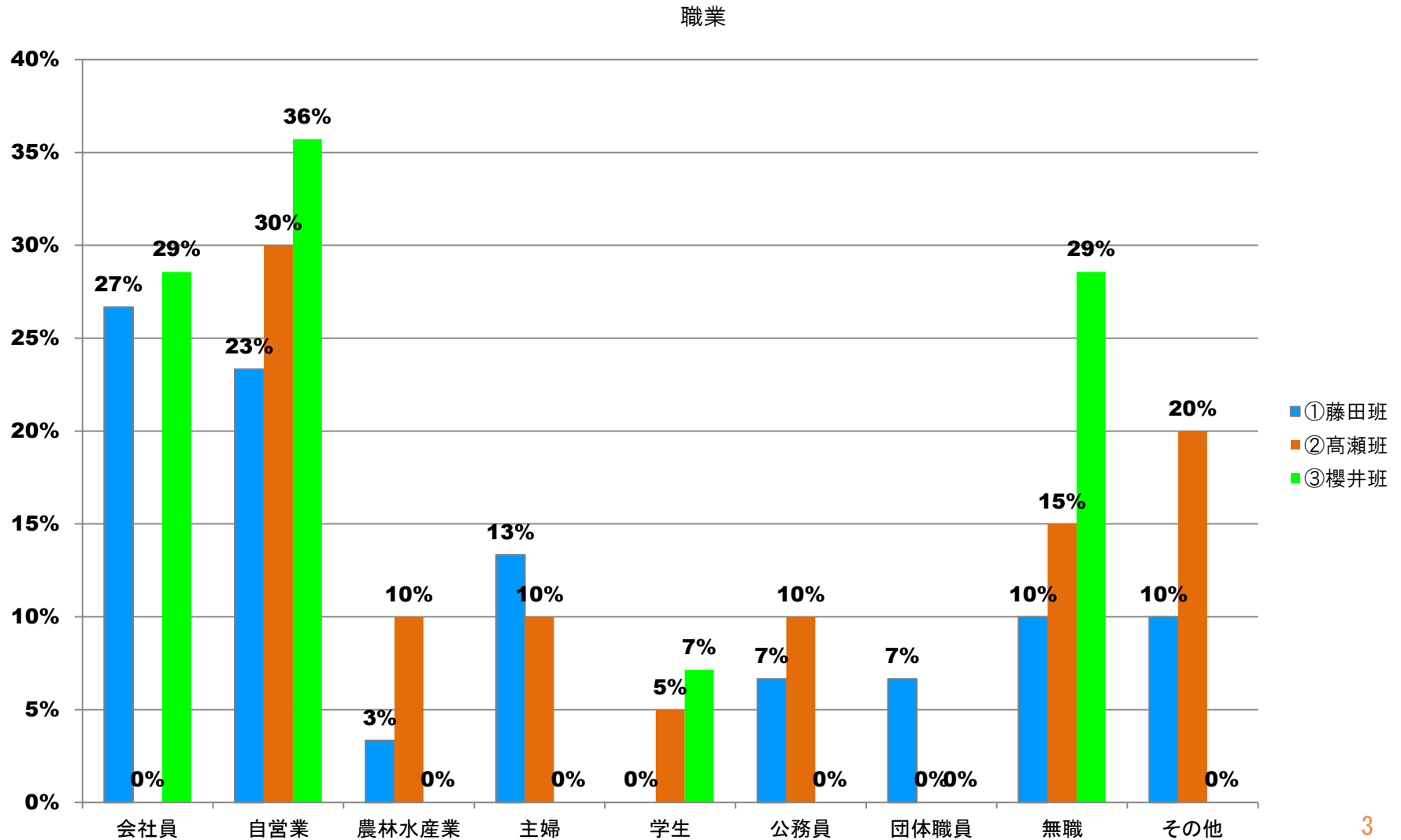


年齢構成



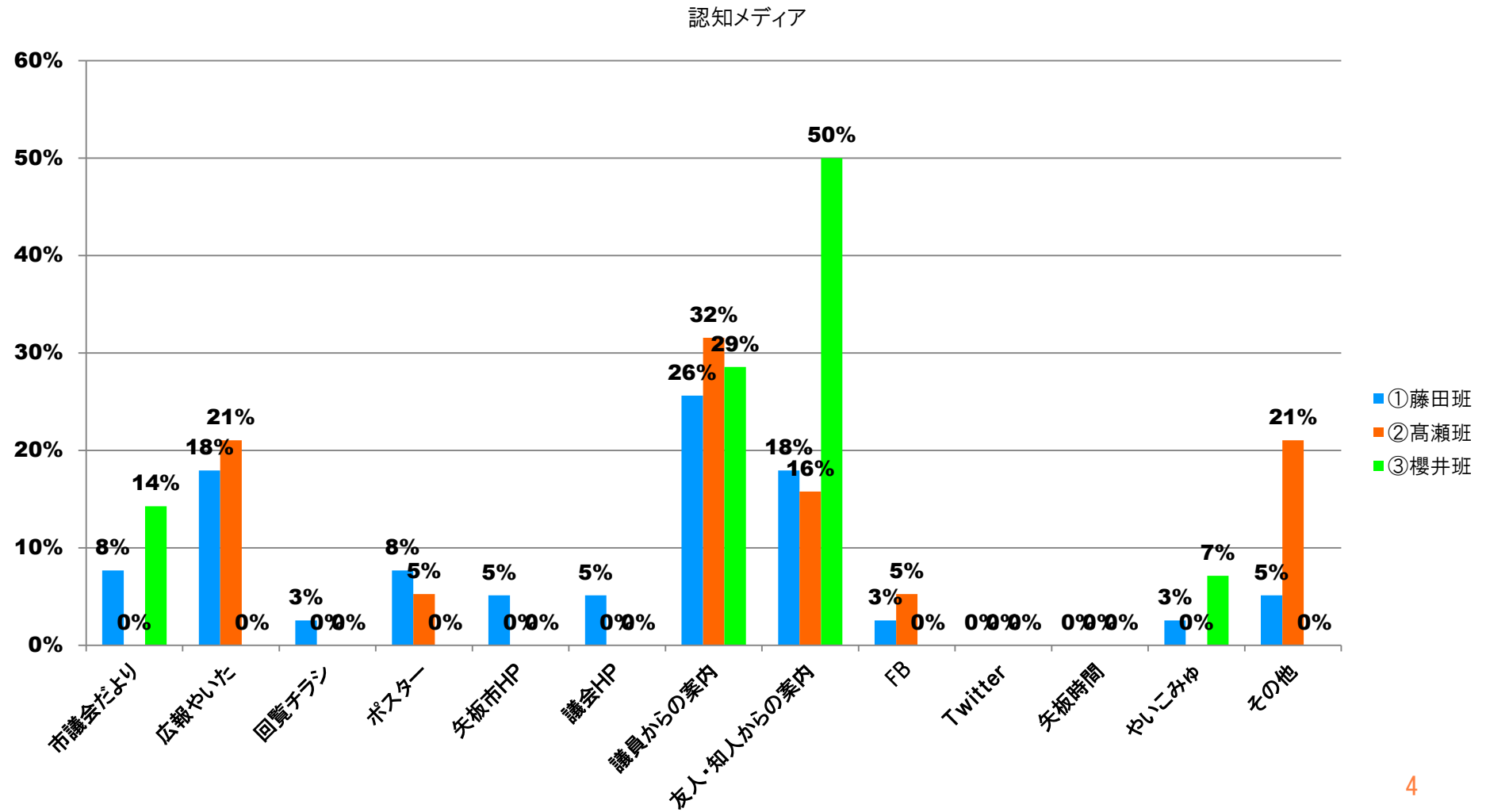
2. 参加者アンケート分析

Q2 ご職業をお聞かせください。



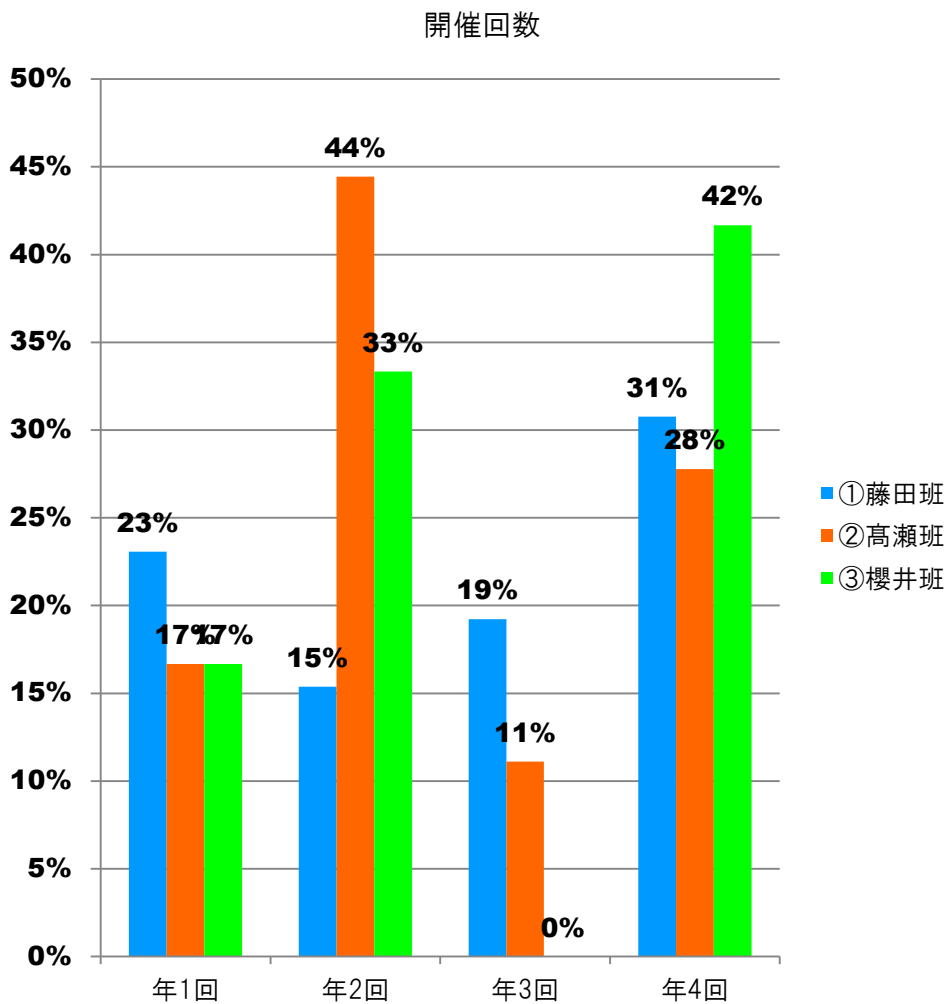
2. 参加者アンケート分析

Q3. どのようにして「議会報告会・意見交換会」を知りましたか？ ※複数回答可

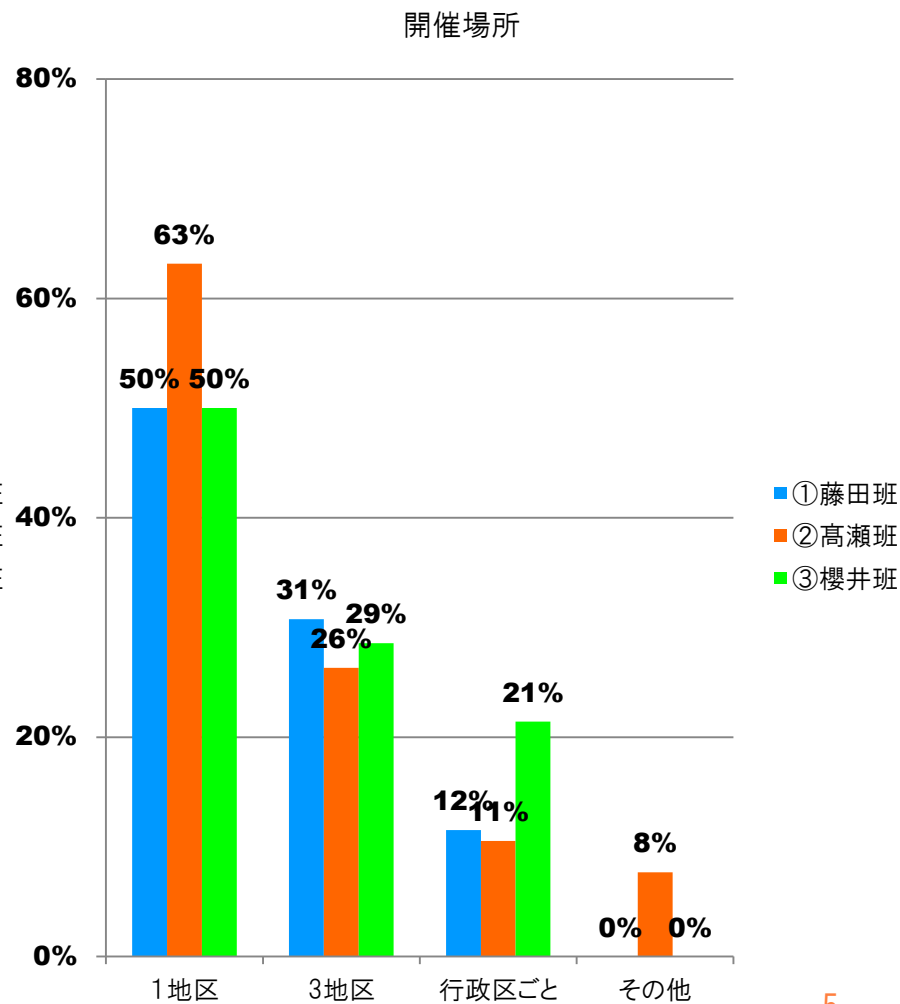


2. 参加者アンケート分析

Q4 開催回数ほどの程度がよいと思いますか？

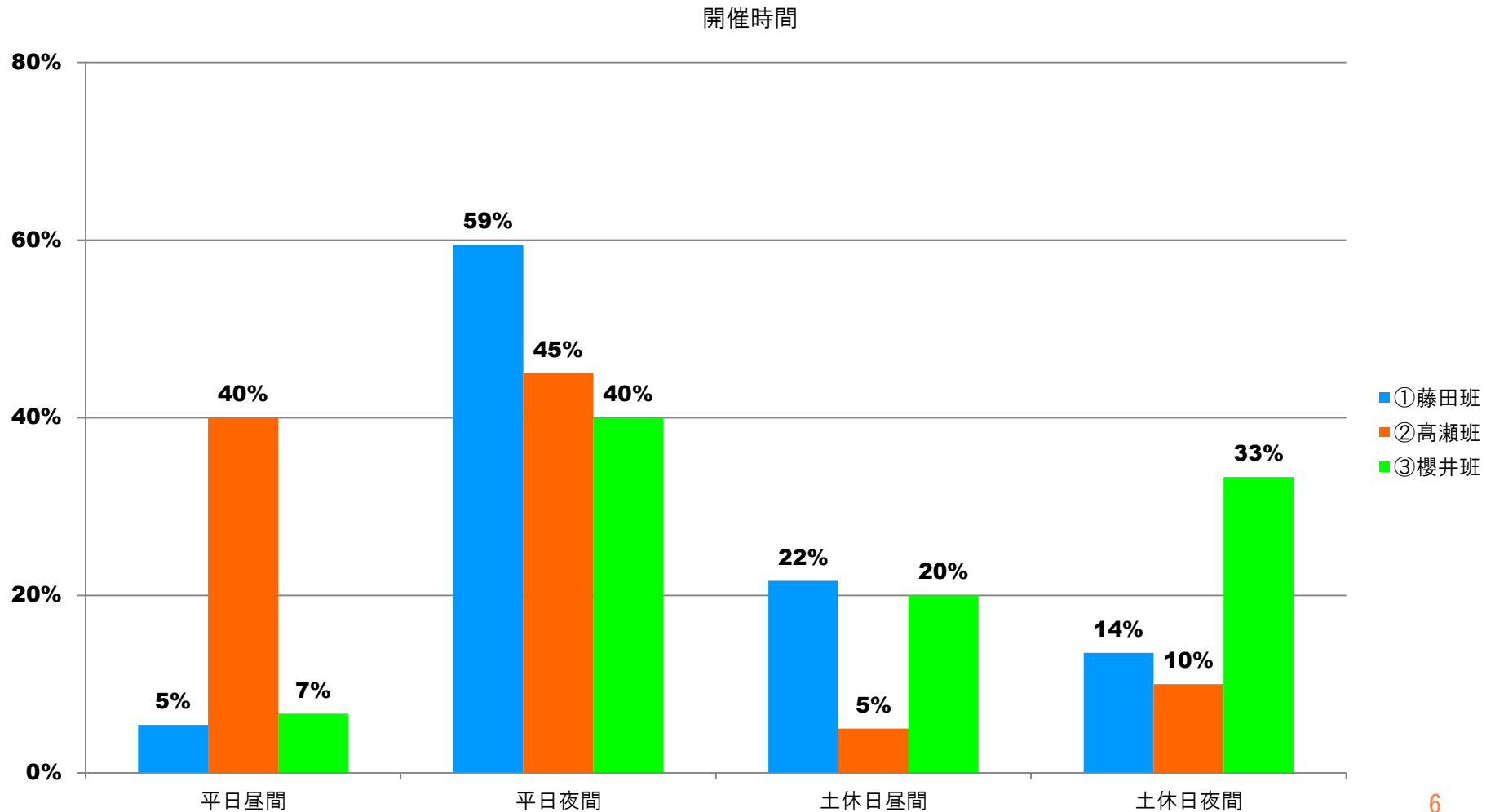


Q5 今後、開催場所はどこがよいと思いますか？



2. 参加者アンケート分析

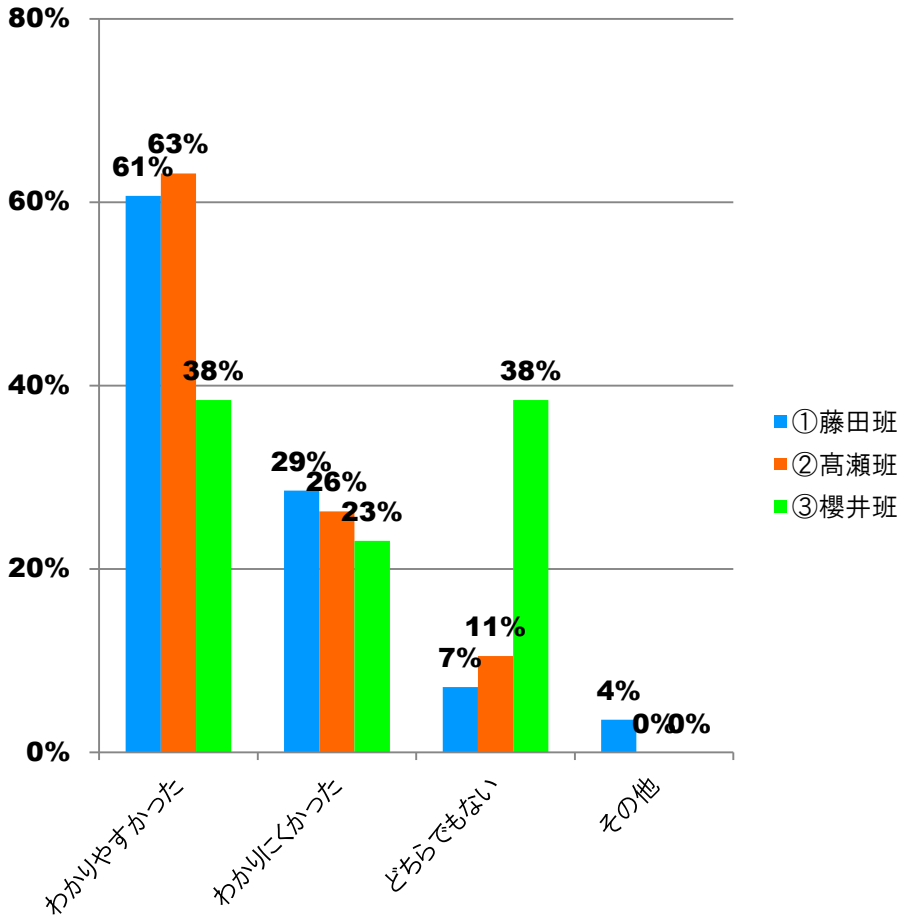
Q6 開催する時間帯は、いつごろがよいと思いますか？



2. 参加者アンケート分析

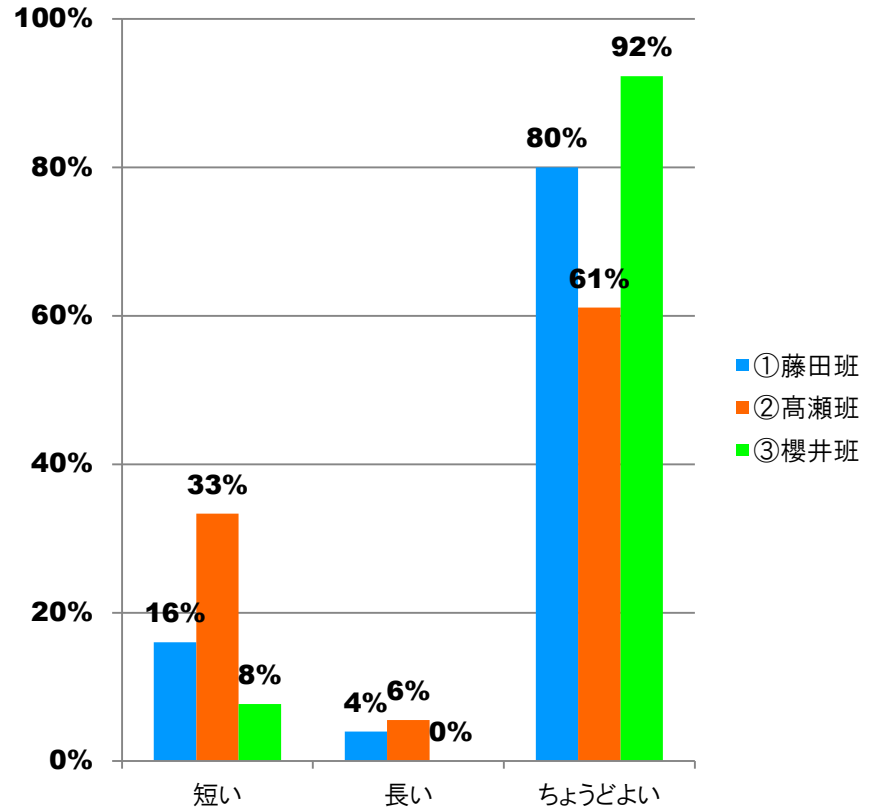
Q7 第1部 議会報告会の内容は、わかりやすかったですか？

議会報告会の内容



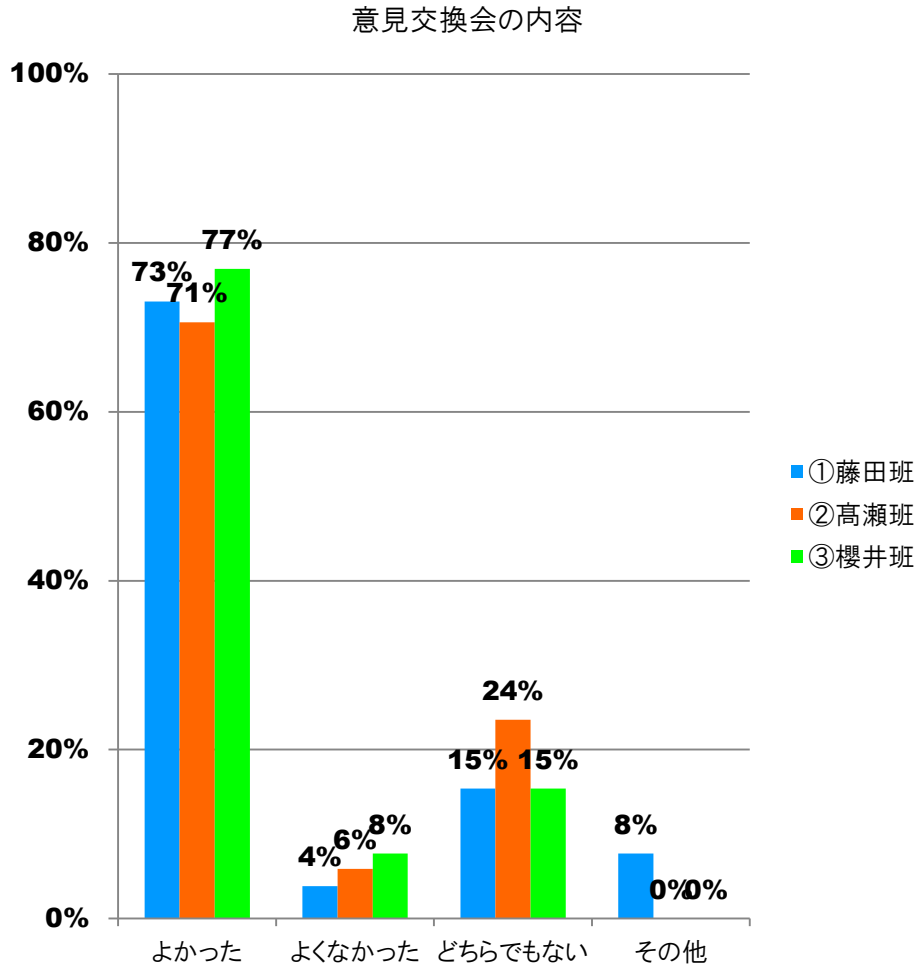
Q8 第1部 議会報告会の時間はどうでしたか？

議会報告会の時間

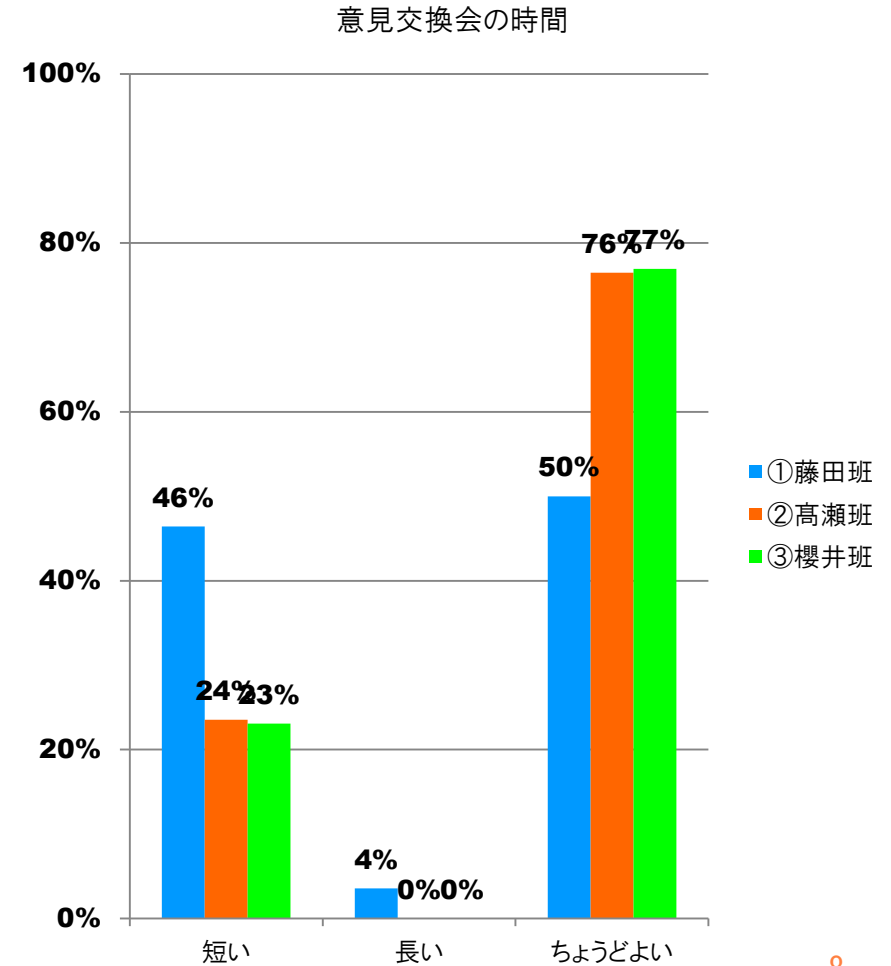


2. 参加者アンケート分析

Q9 第2部 意見交換会はどうでしたか？



Q10 第2部 意見交換会の時間はどうでしたか？



議会報告会・意見交換会 報告書

開催日時	2019年10月9日 19:00～21:00	開催場所	文化会館 小ホール
担当議員 [◎:班長 ○:副班長]	◎藤田欽哉 ○神谷 靖 佐貫 薫 和田安司 今井勝巳		
	司会者	藤田欽哉	報告者
ご参加人数	32名		

主なご意見・ご提言 ～議会報告会～

NO	ご意見・ご提言	ご回答	担当
1	矢板市は昨年から行政懇談会を失くした。その代わり5つの懇談会（①高校生、②子育て世代、③婦人団体、④手をつなぐ親の会、⑤小中学校PTA）を設けた。これらに該当しない者は、行政と懇談を持つ場がないので、行政懇談会を復活して欲しい。	要望として承り、執行部にお伝えします。	議会
2	教育のICT化について、機器の支給など進んでいるところもあるが、教師側の対応の遅れが懸念される。行政で取り組んでいることや議会からの提言等あれば伺いたい。	来年度からICT教育が本格的に開始するので、本年度は研修が始まって、現在その最中という状況です。ICT教育は機器を使うことが目的ではなく、ICTで学習の定着度を図ることや、学習興味を喚起することが目的で、ここが重要なところ。現在、ノウハウを習得されているので、来年度は、この点（目的に対する効果）を注視していきます。	議会
3	決算資料において、「人件費」という項目が10%ほど減っているが、何をしたのでしょいか。	資料の作り方が、構成比による比較となっていて、人件費の構成比は平成29年(15%)から平成30年(13.7%)で1.3%減です。資料の比較金額は、支出を揃えた相対的なものとなっています。平成30年度決算では、歳出は前年比10.2%増えており、人件費については前年比0.7%増加しています。	議会

令和元年12月12日

以上のとおり、報告致します。

矢板市議会議長 石井侑男

議会報告会・意見交換会 報告書

開催日時	2019年10月9日 19:00～21:00	開催場所	文化会館 小ホール
担当議員 [◎:班長 ○:副班長]	◎藤田欽哉 ○神谷 靖 佐貫 薫 和田安司 今井勝巳		
	司会者	藤田欽哉	報告者
ご参加人数	32名		

主なご意見・ご提言 ～これからの矢板市に望むこと～

NO	ご意見・ご提言	担当
1	市内生活道路について、東西方向に比べ、南北方向は一方通行が多く不便な状況が長く続いている。対面通行できるよう拡幅して欲しい。	
2	中学生の交通マナー（自転車運転）がよくなって、大きな事故にならないか心配している。もっと安全教育を拡充してもらいたい。	
3	幼児教育にもALTの先生を配置して、子どもが国際社会へ出られるように、小さいうちから語学教育をしてもらいたい。	
4	子ども医療費の現物支給の拡充をしてもらいたい。償還払いの場合でも申請がなくてもよいようにして欲しい。	
5	スクールゾーンで速度をおとさずに走行する人が多いので、速度を抑制する対策（道路に起伏を設けるなど）をとってもらいたい。	
6	インフルエンザワクチン接種費用の助成をお願いしたい。	
7	他市にはある市民活動支援センターを矢板市にも設置して欲しい（さくら市は令和2年4月に開設予定）。	
8	街灯が大変少なく道路が暗いため、矢板高校の生徒が自転車で下校する際、大変に危険な状況である。また今のLED防犯灯は水銀灯に比べて暗く感じる（照らす範囲が狭い）。市内には暗い箇所が多くあるので、街灯について対応してもらいたい。	
9	無痛分娩が出来るように、助産師の確保も含め、安心して子どもを産めるように病院の対応をお願いしたい。	

10	矢板市は駅や道路など立地がよいのに、若い人が楽しめる場がない。住みやすさや、街のにぎわいなど、若い人が集えるようにようにして欲しい。シャープ跡地に何かつくる予定はあるのか？	
11	若者が活躍する場を支援して欲しい。そのための予算をつけてもらいたい。若者が活動を通して次代を担う人材に成長できるようにする。民間（若者）主導の官民連携事業の推進をお願いしたい。	
12	矢板市は飲み屋が少ない（ので増やして欲しい）。	
13	企業が減っているので、新しい企業を育てる予算をねん出して欲しい。	
14	平日は図書館に子どもの声が全く聞こえないので、子どもに図書館を利用してもらいたい。子どもを優先して育てる（子育て環境がよい）市になってもらいたい。	
15	高齢社会を向かえており、共生社会の取り組みとして、包括ケアシステムの充実、推進をお願いしたい。	
16	災害に強い街づくりへの取り組みをして欲しい。発電機設置や食料品備蓄などを検討してもらいたい。	
17	生徒も教師も忙しい状況なので、子どもと対話ができる学校づくりをしてもらいたい。	
18	英語教育が弱いので、英語を読める力をつける取り組みをしてもらいたい。	
19	人口増（特に若い世代）への対策をしてもらいたい。矢板市には潜在的な力や資源があると思うので、それらをきちんと活用することで、若い世代の人口増を図ってもらいたい。若い人が沢山いる「にぎわい」を取り戻す場所や行事が必要と思う。市有地を無償で若い世代に分譲してはどうか（外から人を呼び込む）。空き家を利用した体験移住をもっと進めて、定住につなげてもらいたい。	
20	矢板市はスポーツをする人が結構いるので、いいことだと思っているが、スポーツをするための体育館がすごく古く、トイレの問題もあり、大きい大会が出来ないので、新しく使いやすいものが欲しい。そうすれば若い人も集える場になると思う。若い人が住みたいと思える環境を作っていくことが大事なのではないでしょうか。	
21	大学で（県）外に出てしまうと、働く場がないと帰ってこれないので、若者が働く場（企業誘致）を作ってもらいたい。（これからの）先を見て、若い人が住みやすい矢板市になるような予算の執行をしてもらいたい。	
22	大人に対する英語の人材教育（学び直し）をして、ボランティアで外国人を受け入れやすくする（オリンピックスに向け各地で増えている）。	
23	中小企業の事業承継がスムーズに行われる方策（M&Aなど）を進めてもらいたい。働く場がなくならないように対策を図って欲しい。	
24	若い人に魅力のある商業施設（コストコ、スタバなど）を誘致して欲しい。	
25	道路の環境整備（雑草・樹木の伐採など）をして、住みやすくする。	

26	市が住宅整備をして、若い人を呼び込む（住環境を売りにする）。	
27	後期高齢者の健康のための新しい公民館をつくることを提案する。地域の人が集まって、楽しく、健康になる場が必要と思う。	
28	学校の統廃合について色々な面で無駄が多いように思う。特にスクールバスについては無駄が多いので見直しが必要と思う。	
29	飲み屋が点在しているので1軒で終わってしまう。飲み屋街や横丁のような施設があると人が集まり、経済効果があると思う。	
30	空き家対策として、DIY好きな人が集まって、技術を習得しあいながら空き家をリホームして、それを安く売り出す。	
31	空き家をリホームして、子どもの遊び場として使えるようにする。	
32	子どものために、明るくて広い図書館が欲しい。	
33	若者が集まる街づくりとして、駅周辺に複合施設（図書館、商業施設、会議室、子どもの遊び場、行政施設など）を開発する。 大田原のトコトコを見習う。	
34	市の財政確保のため、人件費（5%カット）や補助金を削減して、それを公園や体育館の建設費用に充てる（静岡県掛川市で実施した）。	
35	市内在住者に対して、住宅の補助を付けて、持ち家取得しやすくして欲しい。（移住対策だけでなく、市民が外へ出ないように）	
36	駅西側市街地の道路整備を進めて欲しい。	
37	老人ホーム等の介護施設が人口の割に多いので、事業継続できるのか（共倒れを）心配している。介護施設の整備を望む。	
38	ゴミ収集所の利用者の意識がない	
39	ビン、カンの指定ゴミ袋化	
40	シャープ跡地に大学を誘致できないですか。	
41	矢板から大田原へ抜ける道路の整備をする。 （国道4号線渋滞対策）	
42	地産地消のグルメグランプリをして経済活性化を図る。	

43	大型アミューズメントパークの誘致する。	
44	上下水道の配備を進める。	
45	イベント収益を道路整備に回せる寄付の制度が欲しい。	
46	矢板市の魅力を統一する。（リンゴ、サッカー、自転車、自然…。 キャッチコピーが欲しい）	
47	高齢者・障害者などの交通弱者対策を今後どうするのか。	
48	公共交通機関の広域連携の推進。	
49	矢板・片岡駅周辺の活性化対策・道路の整備	
50	観光資源の有効活用・育樹祭会場の有効活用・活用されていない資産がある。コストコなどの大型店の誘致・空き家などの有効活用・飲食店の営業時間・商店の駐車場問題など	
51	まちづくりに対して矢板は一般的に保守的である。だから発展しない。	
52	市役所窓口の時間延長・市会議員の独自の活動に期待・議会の公開・歳出歳入をもっとわかりやすく表示	
53	保育料・給食費の無料化問題・小中学校の未来について（統廃合と廃校利用）・スクールバスの導入・子供へのモラル教育・医療費の現物支給	
54	矢板市を今後よくする政策とはどんなこと？・隣接市町と比べて特徴ある政策がない・ふるさと納税に地場製品の活用を（地産地消）	

議会報告会・意見交換会 報告書

開催日時	2019年10月9日 19:00～21:00	開催場所	文化会館 小ホール
担当議員 [◎:班長 ○:副班長]	◎藤田欽哉 ○神谷 靖 佐貫 薫 和田安司 今井勝巳		
	司会者	藤田欽哉	報告者
			神谷 靖
ご参加人数	32名		

主なご意見・ご提言 ～アンケート～

NO	ご意見・ご提言	ご回答	担当
1	勉強になりました。	ご意見ありがとうございます。今後も、参加者の方により満足していただける会とできるよう取り組んでまいります。	
2	資料の数値は何を示す目的か分かりにくい表示法になっているマクロの意見とミクロの意見別方向だと議会でも出ること話がよくわからなくなった。	ご意見ありがとうございます。今後の検討課題とさせていただきます。	
3	都市の高齢者を引き受ける。ただし移住地からの補助金をつけてもらう。東京などではいずれにせよ今後の経費を見込まなければならない。	ご意見ありがとうございます。	
4	意見交換のテーマをですらい状態だったので有効的なテーマを事前に具体的に出していただければ有意義に進行するのでは！	ご意見ありがとうございます。今後も、参加者の方により満足していただける会とできるよう取り組んでまいります。	
5	市民活動支援センター。市の財源の確保。一律5%カット（人件費、補助金等）約20億円浮いた金を建設（庁舎、体育館等）静岡県掛川市私たちの手で建てた。	ご意見ありがとうございます。	
6	議員さんと市民との意見交換はお互い意識を高めることからできたとお思います。今後の矢板市の為に議員さんに頑張ってほしいです。	ご意見ありがとうございます。今後も、参加者の方により満足していただける会とできるよう取り組んでまいります。	
7	結果、大田原に住んだ方が良かった。2班のやり方が楽しそうだった。	ご意見ありがとうございます。運営方法等については、今後も改善を図ってまいります。	
8	議会を見学したい。	議会の会議は、基本的には全部公開しています。受付のみで傍聴できますので、ぜひお気軽に傍聴にお越しください。	
9	いろんな人の意見を聞き参考になった。たくさんの人に出てきてもらいこれからの矢板の方向性についてみんなで考えると良い。	ご意見ありがとうございます。より多くの参加者、より多くのご意見をいただけるよう、改善に努めてまいります。	

NO	ご意見・ご提言	ご回答	担当
10	グループワークの人数割合が多く意見を言えるだけで終わってしまっていた。時間も限られているのでもう少し人数を少人数にして発言出来るようにしてほしい。1) 矢板市の補助金制度の周知が乏しい。1) もっと矢板市に住むと良いところアピールしてほしい。1) 矢板市に住んで他市に働きに出て住民税を増収させる。1) 空き地の居住区化して若者世代が住宅を建てられるように補助金を増やしてほしい。地価が高すぎる。(シャブも縮小して地価が下がるのでは?) 大田原など坪5~10に対して矢板は7~12万位する。	ご意見ありがとうございます。運営方法等については、今後も改善を図ってまいります。意見交換会でいただいたご意見については、引き続き議会として、また、議員としても取り組んでまいります。	
11	もっともっと話し合いたい。	ご意見ありがとうございます。運営方法等については、今後も改善を図ってまいります。	
12	矢板市住んで半年です。参加した皆さんの考えが聞けて良かったです。		
13	とても楽しめました。こんな活動をもっと広めてほしい。	ご意見ありがとうございます。今後も、参加者の方により満足していただける会とできるよう取り組んでまいります。	
14	いろいろな意見が聞けてためになりました。		
15	とても良い機会でした。まだまだお伝えできませんでした。次回も参加させて頂けたらと思います。1) 救急小児科→たらい回し。1) ゆとり教育→部活多い、朝練、土、日など家族の時間がない。1) 市役所の対応、人材→初めてのことで分からないことを聞く側への真心、優しさ、あたたかさ。	ご意見ありがとうございます。今後も、参加者の方により満足していただける会とできるよう取り組んでまいります。意見交換会でいただいたご意見については、引き続き議会として、また、議員としても取り組んでまいります。	
16	参加された方々の意見を聞くことが出来て良かったと思います。私は中学の娘がいます、制服の自由化の許可をお願いします。とても楽しく参加させていただきました。もっと農産物を大々的にアピールしてほしい！		
17	貴重な経験、お話しありがとうございました。町づくりについて総合的より幅広い意見を聞きたいと思います。職業ごと、行政区ごと年代ごとの細かい区分けと今回のような広い範囲の年代のか方々との意見交換を試みたいのです。	ご意見ありがとうございます。運営方法等については、今後も改善を図ってまいります。	

令和元年12月12日
 以上のとおり、報告致します。

矢板市議会議長 石井侑男

議会報告会・意見交換会 報告書

開催日時	2019年10月16日 13:30～15:30	開催場所	生涯学習館 研修室1
担当議員 [◎:班長 ○:副班長]	◎高瀬由子 ○中里理香 関由紀夫 宮本妙子 中村久信		
	司会者	高瀬由子	報告者
ご参加人数	20名		

主なご意見・ご提言 ～議会報告会～

NO	ご意見・ご提言	ご回答	担当
1	教育のITC化について。見えた課題が3点示されているが、この課題を解決するために議会は今までどのような連携をしてきたのか。	市長並びに執行部と協議しながら課題解決に向けて前向きに取り組んできました。また、今後も同様に取り組んでいきます。	
2	歳入が前年度比で12%も増えた理由はなぜですか。また、歳出をした後の残額はどの様になっているのですか？	歳入が過去最大となった理由は、環境施設の負担金が12億円あり、見かけ上は数字が膨らんでいますが、国から入ってきたお金です。今後歳入面で工夫を行かなくてはならないと考えています。使用料や手数料、徴収率をあげていかなくてはなりません。残金は繰越となります。	
3	地籍調査で、市の単独事業がありますが、なぜおこなったのですか。	ご意見ありがとうございます。公図混乱地域の調査に使用したものです。	

令和元年12月12日

以上のとおり、報告致します。

矢板市議会議長 石井侑男

議会報告会・意見交換会 報告書

開催日時	2019年10月16日 13:30～15:30	開催場所	生涯学習館 研修室1
担当議員 [◎:班長 ○:副班長]	◎高瀬由子 ○中里理香 関由紀夫 宮本妙子 中村久信		
	司会者	高瀬由子	報告者
ご参加人数	20名		

主なご意見・ご提言 ～子育て・孫育て～

NO	ご意見・ご提言	担当
1	地域住民のコミュニケーションが活性化できれば、「子育て」「孫育て」に相当プラス効果があると思う。	
2	孫育てに日々苦戦している中、育成会などの繋がり、友達のありがたさ、遊ぶことの大切さを感じている。教育も一人ひとりに目が届くように、自信をどう持たせるかが大切。	
3	シングルマザーが増え、子どもの貧困が着実に進んでいるので市長に考えていただきたい。	
4	学校任せの世代であった。人口減少で友達づきあいができない。	
5	2人の男の子が不登校になった。長男の時には落ち着きを取り戻すまで大変だった。三男の時には親、学校、先生の初期対応の失敗があった。全ての大人が子どもの心を想像し、その子の立場になって考え、その子が一番安心できる対応ができるようにすることが大切。	
6	わが子は2人とも県外の大学に通い、上の子は県外にそのまま就職。下の子も卒業後矢板に戻ってきて就職するかどうか。	
7	地域で子育てに協力関心を持つ環境が少ない。現在児童館、子どもの広場、ファミリーサポーターなどを活用できるのは良い。	
8	大田原市は補助金が手厚く（給食費一律2000円等）、移住の傾向がある。	
9	高根沢の「ひよこの家」のような場所を作って欲しい。誰でも安心して集える居場所がたくさんあると良い。	

10	子どもの成長にともなって難しくなる育て方の道筋などを相談できる場所があるといい。	
11	不妊治療7年目で女の子を授かったが、子育ては何をしたらよいかわからず、妻が産後鬱で1年間通院した。父として何ができるか考え、「ハッピーアドバイザー」の資格を取得した。子育てを学ぶ所があるといい。	
12	教育委員会を訪ねれば、民間の居場所、心理カウンセラー、フリースクールなどの情報を必要な人にすぐ教える体制を作って欲しい。どこを選ぶかは個人の選択。まずは全部の情報を集めて渡してほしい。	
13	子育ての責任者、権限者は親であり、親たちに子育ての心がけを伝道する機会を数多く設定すべきだ。	
14	学校の担任の先生のみではなく補助教員の増員が必要。	
15	タブレット授業は慎重に。ルールを家庭と一緒に考えさせていく。標準的なルールを研究していってほしい。	
16	給食費の無料化。不登校でも食べない給食を払い続けなければならない。持ち帰ることもできない。食べない給食を払い続ける程、家計に余裕がない。	
17	現在矢板市では、第3子に補助があるが、これを拡大し第2子に拡大するなど、子育て世代を増やす工夫が必要。給食費の無料化をして欲しい。	
18	一般財源から浮いた予算は子育てに重点投資していただきたい。	
19	小中学校の体育館を除く全ての教室にエアコンを設置していただきたい。	
20	小学校への通学路が、夕方以降暗くて危ない所がある。	
21	通学路の街灯を増やしてほしい。片岡小からコリーナ矢板全域は、自転車通学の際時期によっては真っ暗で危険。大人でも恐怖を感じる。	
22	市として監視カメラを設置して欲しい。	
23	歩道の整備をお願いしたい。たんぽぽ公園から北方向へトレーニングセンターあたりまで、玉田からコリーナの付近、江部商店の交差点が危ない。	
24	遊具を増やすなど、公園の整備をしていただきたい。	
25	公園やお母さんたちが意見交換できる場所（カフェなど）を整備していただきたい。	
26	市バス運行の時間、運行状況の改善をもっとしていただきたい。	

27	小さい頃からスマホ、タブレットを使わせていたせいか、小中と操作する時間が年々長くなってしまい、大きな問題となってしまった。使用時間が余計長くなるので、タブレット授受もどうかと思う。	
28	若者の働き口が増えると良いと思います。	
29	給食費の無料化反対。	
30	学校の統廃合により地域との関りが無くなった。地方の魅力って地域の協力協栄精神ではないのか？	
31	給食費の無料化。	
32	子育てのフォローについて元気なシルバーの方の力を利用できないだろうか？（世代間交流等）	
33	世代間連携のとれる矢板市にしてほしい。祖母世代・父母世代・子世代の3世代。	
34	未婚晩婚化について対策はなされているのですか？少子高齢化のために頑張ってもらいたい。	
35	保育料に給食費も含めての無償化にしてほしい（せめて大田原市と同様に）。	
36	子育て環境には大人の仕事（経済力）、生活環境、地域の協力等総合的支援が必要。子どもに地域の誇りを！	
37	子どもの貧困、経済格差、虐待、いじめ等に真剣に取り組む覚悟。	
38	子どもの貧困、困難な事、情報収集、共有、解決に向けた行動。プライバシーと命。	
39	道路行政についてもっと考えてほしい。	
40	高齢世代と子育て世代の連携が必要。	
41	子ども医療の申請を病院と市で直接処理してもらいたい。現在はまとめて書類を提出し、期日もあるので、平日提出の場合忘れてしまう。	
42	市議会議員との意見交換会を多くしてほしい。	

議会報告会・意見交換会 報告書

開催日時	2019年10月16日 13:30～15:30	開催場所	生涯学習館 研修室1
担当議員 [◎:班長 ○:副班長]	◎高瀬由子 ○中里理香 関由紀夫 宮本妙子 中村久信		
	司会者	高瀬由子	報告者
ご参加人数	20名		

主なご意見・ご提言 ～アンケート～

NO	ご意見・ご提言	ご回答	担当
1	初めて参加させて頂きました。皆さんの心の中にいろいろな思い、考えがありとても勉強になりました。先ず一人一人が考えること、思いを表に出すこと、そうすれば矢板もますます住みやすくなるものと思っています。これからもこのような機会を定期的で開催してほしい。	ご意見ありがとうございます。今後の課題とさせていただきます。	
2	米国の大学では1980年代学力だけの入試ではなくAO入試を取り入れている。日本も正解だけを求める入試ではこれからの世の中では通用しないかもしれない。情報処理の速さを求める人材でなく情報を集めて編集利用することのできる人材が必要！一人一人の得意を集めて仕事していく。先生の言うことをお利口に聞いて言われたことをこなす子は学校ではいい子で出来る子でも社会に出たら通用しないことも！思い切った学校改革をして教育先進都市を目指してみても？けっして勉強の出来るお利口さんでなくやりたいことを発信し仲間、大人を巻き込んで動くことのできる人がこれからの時代に必要今のままの教育でいいの？	ご意見ありがとうございます。教育改革が進む中で、矢板市として子ども達への教育をどのようにしていくべきなのか、議会としてもしっかりと取り組んでまいります。	

NO	ご意見・ご提言	ご回答	担当
3	第1部 市営バスのあり方、今後、サービスの向上を望む。1) 運転手さんが子どもに対して怖いイメージで接していて、今利用するのを保留している児童もいます。(コロナ地区) 1) 安全性を考えてデマンド化を早急に歩行距離が少しでも楽になるように実現してほしい。1) 通学路の安全のためガードレールの設置をお願いします。	ご意見ありがとうございます。市営バスのデマンド化、通学路の整備については、議会としても今後も注視してまいります。	
4	話し合いに出た意見要望は出来るだけ実現に向け努力してほしい。出来るものから速やかに行ってほしい。	ご意見ありがとうございます。今後の課題とさせていただきます。	
5	本日の話し合い、提言をどう具体的に行動に移し議員、議会として活動していくかを期待し、市民として協力していきたい。	ご感想ありがとうございます。皆様のご期待に沿えるよう、議会としてしっかり取り組んでまいります。	
6	ざっくばらんの意見交換会よかった。	ご感想ありがとうございます。	
7	議員と会話出来る良い機会でした。長期にわたり意見を吸収して少しでも良い市になる様になればと思います。議員の皆さん頑張ってください。	ご感想ありがとうございます。皆様のご期待に沿えるよう、議会としてしっかり取り組んでまいります。	
8	子育て世代をどう増やしていくか。この点に絞り込み人口増、税収増に結びつけてほしい。	ご意見ありがとうございます。	
9	資料が見にくい。説明が不明瞭。意見交換はよく聞いてくれる印象。		
10	重大な提言に対する方法を提言してほしい。悩みを打ち明けただけのないようであった。	ご意見ありがとうございます。今後の課題とさせていただきます。	
11	幼児教育の一貫として英会話の向上に向けて小学校に行っても役に立つようにする。		
12	参加者が少ないのではないのでしょうか？多くの参加が出来るよう工夫してほしい。	ご意見ありがとうございます。多くの方にご参加いただける様な工夫を考えてまいります。	

令和元年12月12日

以上のとおり、報告致します。

矢板市議会議長 石井侑男

議会報告会・意見交換会 報告書

開催日時	令和元年10月27日(日)18:00～20:00	開催場所	生涯学習館2階第1会議室
担当議員 [◎:班長 ○:副班長]	◎櫻井恵二 ○掛下法二 ○石塚政行 伊藤幹夫 小林勇治		
	司会者	櫻井恵二	報告者
ご参加人数	14名		

主なご意見・ご提言 ～議会報告会～

NO	ご意見・ご提言	ご回答	担当
1	収入と支出のバランスを見ると今後不安を感じるがどう考えていますか？	財政の健全化判断指標として、財政構造の弾力性を示す経常収支比率と地方債の元利償還金の割合を示す公債費比率があります。矢板市の場合、県内比較では中位に位置しますが、全国での比較では決して悪いほうではありません。全国の類似自治体との比較でも同様の状況です。今後とも健全財政に向けた努力は必要であり、議会としてチェックしてまいります。	

令和元年12月12日

以上のとおり、報告致します。

矢板市議会議長

議会報告会・意見交換会 報告書

開催日時	令和元年10月27日(日)18:00～20:00	開催場所	生涯学習館2階第1会議室
担当議員	◎櫻井恵二 ○掛下法二 ○石塚政行 伊藤幹夫 小林勇治		
ご参加人数	14名		

主なご意見・ご提言 ～人口減少の中でのまちづくり～

NO	ご意見・ご提言	担当
1	企業誘致より、近隣市町村に勤める人たちのベッドタウンとして売り込む。「住みやすい街」もっと伸ばすべき。	
2	移住・定住を促進するために、空き地・空き家の持ち主と市で協議し、安く、もしくは無料で提供するシステムで人を呼び込んではどうか？	
3	空き家等を整備し、住居費の安さや、田舎暮らしの良さを県外にPRしてはどうか？	
4	外国人が住みやすい仕組、制度等を作ったらどうか？	
5	第2子からの教育費無償化。	
6	学校を作る。 専門学校等	
7	雇用を生む企業への誘致。	
8	高齢者でも、元気な人がもっと働けるようプロモートする。	
9	移住者にターゲットを絞り、市が住宅を準備し低額の家賃で提供。何十年住めば無料で譲るようには如何か？	

10	矢板市の魅力を1つに絞り全力で発信。PRの仕方も重要。	
11	「災害の少ない街 矢板」とアピールして欲しい。	
12	矢板市は農地転用が難しい。農地転用を緩和し、例えば道の駅周辺や矢板IC、スマートICを活かした町を開発してほしい。	
13	人づくり。若者主体のまちづくり	
14	高齢者の住みやすい街づくり。	
15	交通手段のあり方について、もっと市民の声を集める必要があるのではないか。	
16	目玉になる商業施設への誘致。そこを中心に道路の整備。	
17	共同の精神。	
18	高齢者が幼児を見ることが出来る環境を整える。	
19	行政の職員は成功事例がないと無関心。新しい事にもっと積極的に関わってほしい。その為に、先進的な事業に取り組むことが出来ないのが現状。	
20	「矢板と言えばこれだよね」といえるものが必要。例えば：宇都宮市は餃子、大田原市は唐辛子 と言われているように。	
21	矢板市の強みを市だけでなく、市民、企業が推していけるような考えで、そこに仕事があれば（なお良い）。	
22	矢板市の魅力（の発見・発信？）。	
23	矢板市はこれだけは日本一である政策とその実現。例えば：「プラスチックゴミ減量日本一」。	
24	働く場所が必要。	
25	働く場所、経済力、雇用。	
26	矢板市に住むメリット（がないといけない）。	

27	働く場所を作る（企業誘致を積極的に）。	
28	シャープのような人の雇用に影響出来る職場。	
29	矢板市には高校が3つある他市に無い特色があるそれをさらに推し進めて大学・専門学校を誘致することでまちの賑わいを創出する。	
30	学校・大学・短大・専門学校を誘致。	
31	J Rで東西が分断されている。	
32	道が複雑です。どこに何があるのか良く分かりません。例えば大田原市では市役所前など広いメインストリートがあり分かりやすい。	
33	ハード面での災害対策とソフト面では経済的安心。	
34	安全な市として、災害など多いので安心して住める市。	
35	安全・安心な生活環境作り。郊外放送の充実。 雇用募集のチラシを見ると那須塩原市や大田原市で7～8割を占めていて矢板市は2割程度である。高齢化が進む中で将来への経済的安心な生活環境作りを（雇用の場）。	
36	女性の経済力をアップ 例えば：非正規社員の格差を是正することなど。	
37	子育てに対しての補助、時間など。	
38	子どもの遊ぶ場所。室内で手軽に、安い料金で。運営は民間に。	
39	コンパクトな生活を考えるのであれば、市で請け負う仕事を民間に移行するように考える。例えば：バスなど。	
40	移住政策を積極的に。移住してきた人たちにアンケートを取り、矢板市に移住してきた人たちから詳細なご意見を頂き分析をする。それを、移住政策にフィードバックさせることが必要。	
41	人口減少対策として外国人に来ていただける取り組みを。そのためには、矢板市が外国人から見て魅力があるまちであること。	
42	今回の議会報告会・意見交換会が出来て良かった。今後は若者が多く参加して沢山意見をだしていただけると良い。（このグループは若者が多かった。）	

議会報告会・意見交換会 報告書

開催日時	令和元年10月27日(日)18:00～20:00	開催場所	生涯学習館2階第1会議室
担当議員 [◎:班長 ○:副班長]	◎櫻井恵二 ○掛下法二 ○石塚政行 伊藤幹夫 小林勇治		
ご参加人数	14名		

主なご意見・ご提言 ～アンケート～

NO	ご意見・ご提言	ご回答	担当
1	もっと若い人が来られるような内容。この会をもっと気軽にPRし、誰もがわかる会にしたほうが良いと思いました。	貴重なご意見ありがとうございます。 もっと若い人が参加できるよう運営方法を検討します。	
2	若い人も集まれる場所にして意見してもらう手が今後必要ではないでしょうか。		
3	市の職員の改革をお願いします。しがらみや前例のないもの。積極的にチャレンジできるように指導してほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。 職員が、改善にチャレンジする風土を作るよう、市長並びに執行部に提案してまいります。	
4	議会について意見交換会をやって欲しい。	貴重なご意見ありがとうございます。 議会改革委員会への課題として、今後検討させていただきます。	

令和元年12月12日
 以上のお通り、報告致します。

矢板市議会議長 石井侑男